

第25回Wリーグ 七尾大会

地元出身選手の活躍に大歓声

10月28日(土)、29日(日) 七尾総合市民体育館



赤穂さくら選手



子どもたちも活躍

オープニングゲーム&ハーフタイムショー



28日は、試合前に市内バスケットボールクラブチームの小学6年生によるオープニングゲームが行われ、ハーフタイムショーでは、山王小学校の6年生が「七尾まだら」を披露し、大会を盛り上げました。

バスケットボール女子日本リーグ(Wリーグ)の公式戦が10月28日、29日に開催され、七尾市出身でデンソーアイリスに所属する赤穂さくら選手と赤穂ひまわり選手、トヨタ紡織サンシャインラビッツに所属する坂本美樹選手が、4年ぶりの凱旋試合で躍動しました。ひまわり選手と同じく東京2020銀メダリストの高田真希選手、馬瓜エブリン選手(デンソー)、東藤なな子選手(トヨタ紡織)も出場し、世界レベルのプレーで観客を圧倒しました。

28日には、ひまわり選手がチーム最多タイの12得点を挙げ、29日は坂本選手がチーム最多19得点を挙げ、それぞれチームをけん引。会場には、2日間で2000人を超える観客が詰めかけ、拍手と歓声でエールを送りました。



坂本美樹選手



赤穂ひまわり選手